



SENSHOJI  
YUKARI NEWSLETTER  
1994-2023

ゆかり通信

VOL. 308

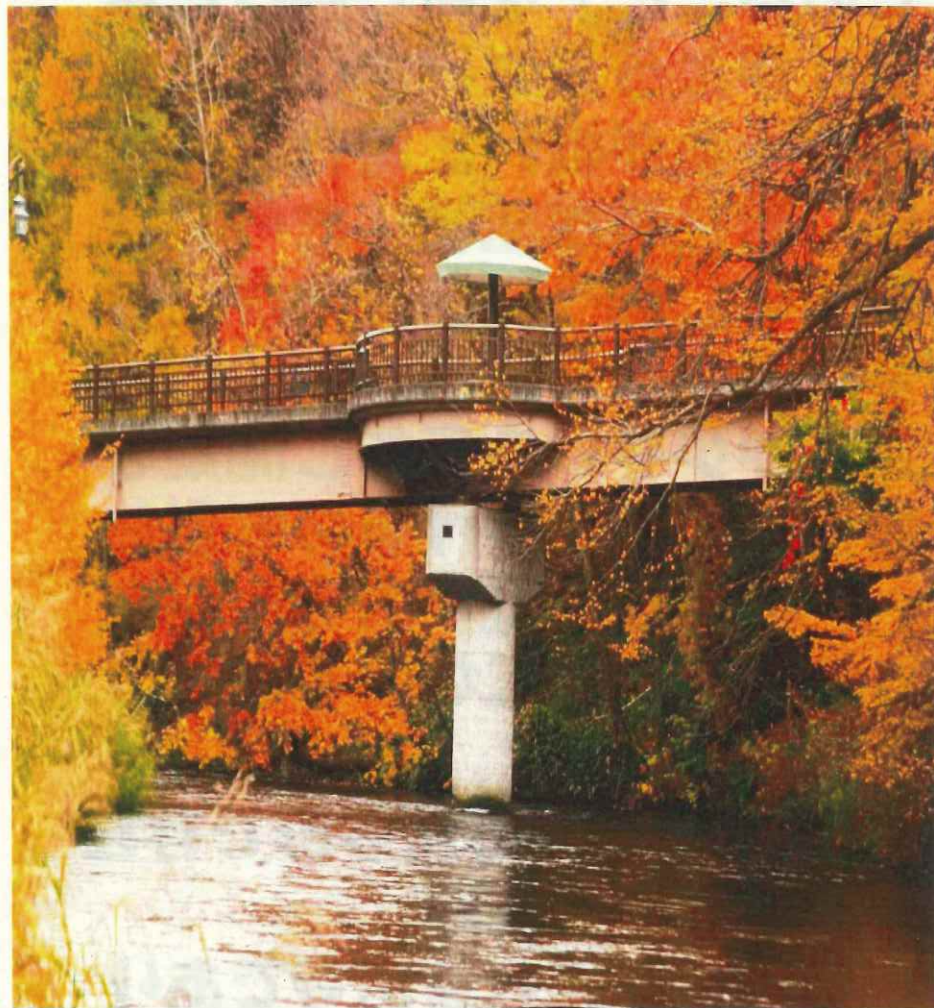
令和 5 年 9 月

北海道千歳市清水町1-14 鶴賀山 千正寺

TEL: 0123-23-2442 FAX: 0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2023年千正寺カレンダー 9月の言葉



市民の健康を守るオハヨウ橋

親の背を流すごとく  
とくに墓参り

今年のお盆は、どのように過ごされましたでしょうか。ご家族が集まりにぎやかに過ごされた方、ご実家のお墓参りや親戚の家にお盆参りに伺われた方など、それぞれのお盆があったことと思います。

私はというと当たり前のことですが毎年8月は、お盆参りの日々を過ごします。それでも16日にはお盆参りも終わるので、結婚してからは毎年、一泊で倶知安の妻の実家に家族で行くことが恒例となっています。

妻は四姉妹。みんな結婚しており、妻の実家では私を含め4人のお婿さんはいつもゆっくりさせてもらっています。今ではそれぞれに子どもができ総勢17名。普段2人で住んでいる家にお盆は集い、夕食は仏間のふすまを開けお仏壇の前でみんなでよばれます。お酒を飲みながら夜遅くまで語り合うのがお盆の楽しみとなっています。翌日は同じ町内に住む母方の祖父母の家にみんなでお盆参り。行くと妻は決まって子供の頃、夏休みに姉妹で祖父母の家に泊まった楽しかった思い出を話してくれます。そして祖母はいつも冷蔵庫にあるウィンナーやハムを焼いてビールのつまみを用意してくれ、祖父は若い頃お寺の総代をしており、私にお寺の話を沢山してくれました。

こうしたお盆が10年以上続いていましたが、その後祖父は施設に入り、お盆には祖母一人になった実家に行った後、祖父のお見舞いという年が1、2年ありました。そしてコロナ禍の生活が始まり祖父とも面会が出来なくなりました。祖母も一人では生活が困難ということで、長男さん夫婦が暮らす小樽へと移って行き、祖父母の家には行けなくなりました。そうして祖父が亡くなったのは昨年春のことでした。祖父の四十九日法要の時、倶知安のご住職さんから、孫さんがお寺に嫁いだことを祖父がとても喜んでくれていたことを聞き、もったいないことと身が引き締まる気持ちになりました。

昨年のお盆には祖父のお骨がある倶知安のお寺の納骨堂にお参りに行きました。月日の流れを感じながら、祖父母の家で楽しく過ごしたあの夏の日を懐かしく思いおこしました。

(文：鹿谷賢純法務員)